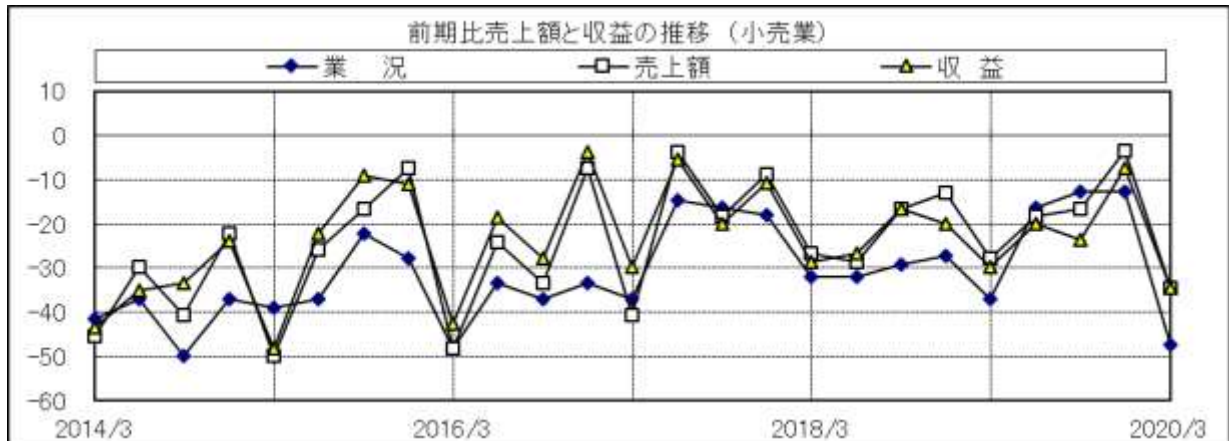


小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期実績 |
|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 業況 | -12.7 | -12.7 | -47.3 | -40.0 |
| 売上額 | -16.5 | -3.6 | -34.5 | -31.0 |
| 収益 | -23.7 | -7.3 | -34.6 | -21.9 |

今期の業況判断 D. I. は $\Delta 47.3$ で、前期比 34.6 ポイント下降した。前年($\Delta 36.9$)比 10.4 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、広尾が最も高く、えりも、三石、様似、静内と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 34.5$ で、前期比 30.9 ポイント下降。収益判断 D. I. は $\Delta 34.6$ で、前期比 27.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期見通し |
|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 販売価格 | 7.2 | 12.7 | -1.8 | -5.4 |
| 仕入価格 | 36.4 | 29.1 | 18.1 | 10.9 |

販売価格判断 D. I. は $\Delta 1.8$ で前期比 14.5 ポイント下降、前年($\Delta 5.5$)比 3.7 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 18.1 で前期比 11.0 ポイント下降、前年(11.1)比 7.0 ポイント上昇した。業種別価格は、衣料は販売が下降、仕入は横ばい。食料は販売、仕入ともに下降。家電は販売、仕入ともに横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期見通し |
|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 残業時間 | -12.8 | -11.0 | -10.9 | -1.8 |
| 人手状況 | -20.0 | -21.9 | -9.1 | -7.3 |

残業時間判断 D. I. は $\Delta 10.9$ で、前期比 0.1 ポイント上昇し、わずかではあるが残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 9.1$ で、前期比 12.8 ポイント上昇し、人手不足感が大幅に弱まった。

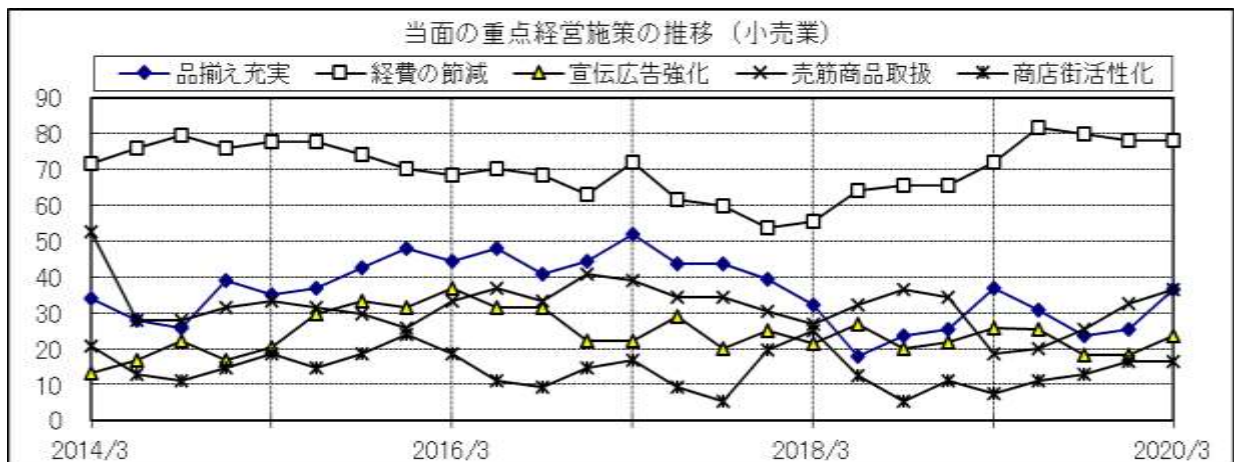
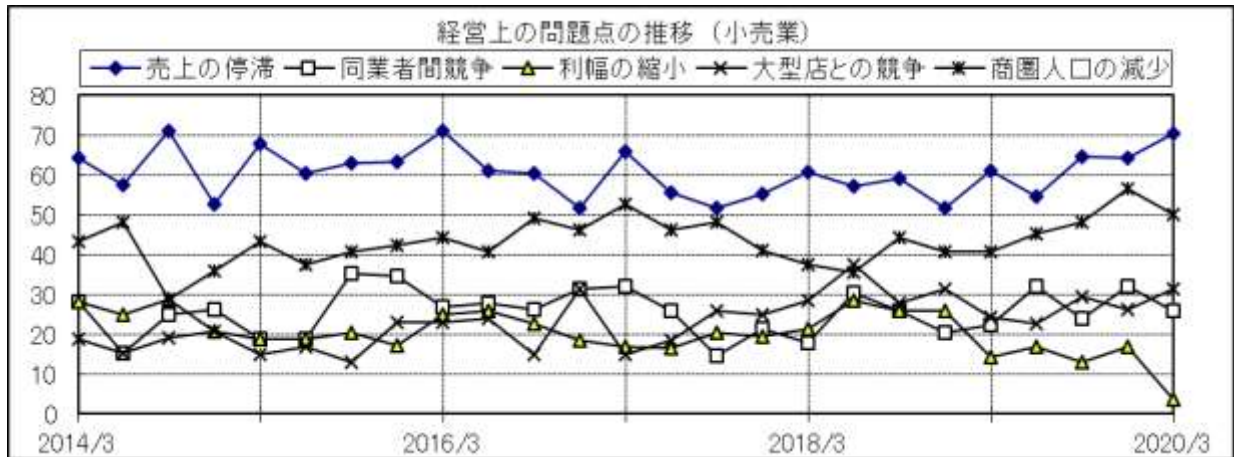
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.7$ で、前期($\Delta 14.5$)比1.8ポイント上昇した。

設備実施企業割合は0.0で、前期(9.1)比9.1ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し実施はゼロとなった。来期の設備投資の予定は2社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が70.4%と最も多く、次に「商圈人口減少」50.0%、「大型店競合」31.5%、「同業者競合」25.9%、「商店街集客力低下」16.7%、「値上げ要請」13.0%、「販売商品不足」11.1%、「取引先減少」・「地場産業衰退」が9.3%、「人手不足」5.6%、「利幅縮小」・「取扱商品陳腐化」・「人件費増加」・「諸経費増加」・「天候不順」が3.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 40.0$ と、今期比7.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 31.0$ と、今期比3.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 21.9$ と、今期比12.7ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 5.4$ と、今期比3.6ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は10.9と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期見通し |
|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 業 況 | -26.7 | -30.1 | -51.7 | -33.3 |
| 売上額 | -20.0 | -16.6 | -55.2 | -13.3 |
| 収 益 | -13.3 | -16.6 | -53.3 | -13.3 |

今期の業況判断 D. I. は△51.7 で、前期比 21.6 ポイント下降、前年(0.0)比 51.7 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に静内、広尾、えりも、様似と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△55.2 で、前期比 38.6 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△53.3 で、前期比 36.7 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期見通し |
|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 料金価格 | -3.3 | 3.3 | -16.7 | 10.0 |
| 材料価格 | 3.3 | 33.4 | 13.3 | 16.7 |

料金価格判断 D. I. は△16.7 で前期比 20.0 ポイント下降、前年(6.7)比 23.4 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 13.3 で、前期比 20.1 ポイント下降、前年(16.7)比 3.4 ポイント下降した。業種別では、旅館業、洗濯理美容業、自動車整備業すべてで、料金価格、材料価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期実績 | 4～6月 期見通し |
|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 残業時間 | -10.1 | 10.0 | -3.3 | 3.3 |
| 人手状況 | -30.1 | -13.4 | -26.8 | -23.3 |

残業時間判断 D. I. は△3.3 で、前期比 13.3 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△26.8 で、前期比 13.4 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

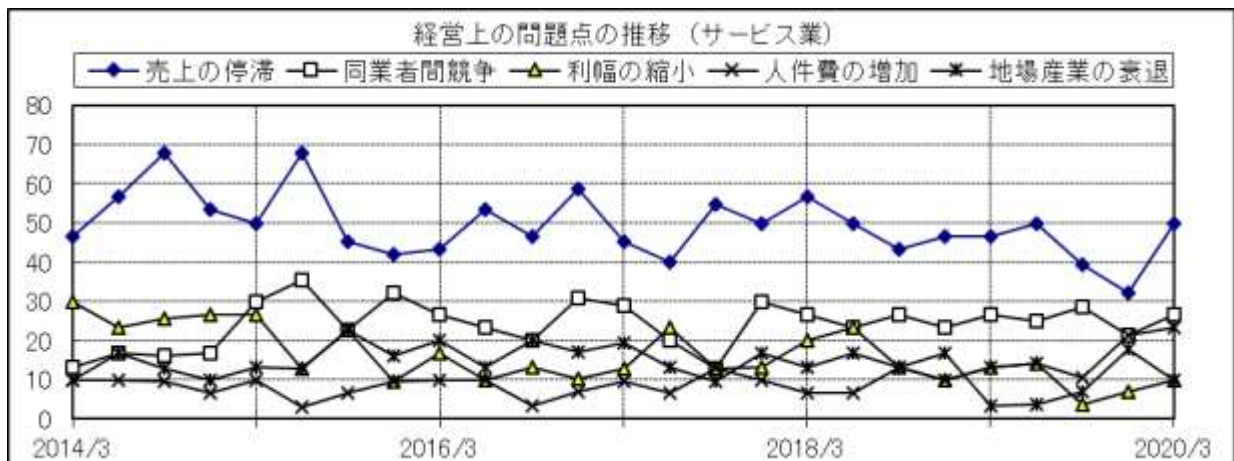
設備投資の充足感を示すD. I. は△6.7で、前期(3.3)比10.0ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は13.3で、前期(10.0)比3.3ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が50.0%と最も多く、次に「商圈人口減少」43.3%、「人手不足」33.3%、「同業者競合」26.7%、「人件費増加」23.3%、「材料価格上昇」13.3%、「利幅縮小」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が10.0%、「料金値下げ要請」・「諸経費増加」が6.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が73.3%と最も多く、次に「販路拡大」43.3%、「人材確保」30.0%、「宣伝広告強化」26.7%、「連携先確保」10.0%、「店舗設備改善」・「技術力強化」・「教育訓練強化」6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△33.3と、今期比18.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△13.3と、今期比41.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△13.3と、今期比40.0ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D. I. は10.0と、今期比26.7ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D. I. は16.7と、今期比3.4ポイントの上昇を見通している。